

様式3 令和5年度新座市学校評価システム学校運営協議会による評価シート

目指す学校像 (重点目標)	「夢を育み、感動・笑顔・歌声あふれる学校」
	～一人一人の笑顔と感動、歌声あふれ、深く学び合 い、生きる力(夢)をはぐくむ学校～

学校名	新座市立東野小学校
実施日	令和6年1月17日

<記入の仕方>

- 「自己評価」及び「学校運営協議会による評価」の欄には、S A B Cを記入してください。
- 「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどの  
ように受け止めるか特記事項がある場合のみ記載してください。

評価項目「組織運営」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、働き方改革を進めるため、校務分掌や教育課程等を適宜見直し、教職員の意識を高めるよう組織的に取り組んでいる。	A	働き方改革を自分事として捉え、さまざまな負担軽減につながる取組をすることができた。分掌のスリム化や教育課程の変更、教材費の引き落としなど保護者の理解を求めつつ組織的に取り組んだ。	A	宿題から家庭学習への移行など、児童の自主性を育成しつつ、教員の仕事量について精査していることについて大いに評価できる。今後、さらなる教育改革を進めていく上では、保護者の理解を十分に得ながら、推進していくことが必要であろう。

評価項目「学力向上」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、指導と評価の一体化を重視した授業を展開している。	B	ゴールを明確にした授業の展開や児童の言葉による授業の振り返りを推進する中で、指導と評価の一体化を重視した授業を展開することがおこなわれた。ICTを効果的に活用し、理解の深化を図れるよう引き続き研鑽に励んでいく。	B	ICTの活用が増え、児童の思考を可視化しようと努力している様子が伺える。しかしながら、文章が書けなくなったとの声も聞こえており、ICTとの併用が求められる。学習が充実する一方で、家庭学習については宿題の廃止に伴い、定着できていない児童への手立てを講じる必要である。

評価項目「豊かな心の育成」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んでいきつづる環境を醸成している。	C	自学年内では、それなりの定着が確認されるものの、学級外では、挨拶ができていない現状がある。指導に対する振り返りの時間を確実に設け、認め褒め励ましながら習慣化につなげていきたい。家庭・地域と一体となって進めていく。	B	子供たちの挨拶はよくできていると捉えられる。教員の笑顔も素晴らしい。言葉遣いが一部気になることもあるが、保護者や地域も来校する際など意識して挨拶することが必要である。東野小の子供たちは挨拶をすると必ず返してくれる良い子ばかりである。

評価項目「健康・体力の向上・安全」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、体育や休み時間などを通じて、児童生徒が意欲的に運動に親しむような取組を行い、体力向上に努めている。	C	南部教育事務所の授業研究会をととして、ICTを活用した授業展開や楽しさを味わわせる展開について研究を深めることができた。今後、その成果を生かしながら児童の体力向上に努める。	B	業間の遊びなど、さらに健康的に学校生活を送れるようになる工夫が必要かもしれない。体育授業の日常化のために授業研究会などで研修したことを教員間で共有し、子供たちの体力向上に努めていただきたい。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、保護者や地域と連携した活動を計画的に実施している。	B	年間計画どおりに保護者や地域と連携しながら学習を展開することが大いにできた。校内研修でもその授業を扱う中で、確実に成果につながる取組を行うことができた。保護者や地域からの意見にも耳を傾け、学校運営に反映していく。	A	周年行事への取組など連携している様子が素晴らしい。幼保小での連携もよく図れている。今後、さらに授業に保護者が関わられるようにするために、学校だけでなくPTAや地域もその周知に協力していくことが必要であると考えます。